

防災ハザードマップを作成

ホームページにも公開

地震や津波などの災害が発生したときの避難所への経路や浸水想定区域、災害についての基礎知識、日ごろの備えなどについてまとめた「防災ハザードマップ」を作成しました。

このハザードマップは自治会を通じ配布されるほか、市ホームページからでも閲覧できます。

災害時に備え、お住まいの周辺や通勤・通学経路などの浸水状況について確かめましょう。



▲津波ハザードマップ

南あわじ市では、平成十六年の台風二十三号をはじめとする洪水・高潮災害で甚大な被害を受けました。また、南海地震が、三十年以内に五〇%、五十年以内に八〇%の確率で発生することが予想されています。

地震や津波、高潮がどのようなものかを知り、危険な場所や被害を想定し、災害被害を最小化するよう、ハザードマップを作成しました。

ハザードマップは 全部で8種類

ハザードマップは地形や環境に合わせて、地区ごとに分

け、全部で八種類作成しています。内訳は洪水マップが五種類、高潮マップが二種類、津波マップが一種類。

お住まいの地域にあわせたマップが七月ごろに配布されます。また、各庁舎、出張所、連絡所および支所にも備え付ける予定です。

さらに、すべてのマップがホームページから閲覧でき、印刷することもできますので、通勤・通学経路などの浸水状況などをご確認いただけます。

ホームページで 浸水アニメーション画像

南あわじ市ホームページでは、五月から福良湾での南海地震における津波被害の様子を想定したアニメーション画像を公開しています。

これに加え、六月から新たに大井手川（阿那賀）、原田川（福良）、築地川（同）お

よびおのころ川（沼島）の洪水氾濫流の様子を想定したアニメーション画像を追加します。浸水の脅威が十分感じ取れるものですので、ぜひご覧ください。

「日ごろの備え」や「災害伝言ダイヤル」なども

ハザードマップには、浸水想定に加え、日ごろから行える備えや災害伝言ダイヤル「171」等の情報収集手段などについても記載しています。

「災害は忘れた頃にやってくる」とよくいわれます。日ごろから家族や近所の方などと避難場所や災害時の連絡方法、非常持ち出し袋の置き場所等について確認しましょう。

いざという時にあわてないように普段からよく話し合っておくことが大切です。ぜひご利用ください。



▲洪水ハザードマップ



▲ホームページ上で公開中の浸水アニメーション画像



▲「災害伝言ダイヤル」などの情報もマップとホームページに掲載

南海地震対策として

津波避難案内看板を設置

南海地震による津波から地元住民や観光客らを安全に避



▲津波避難案内看板（福良）

難所まで誘導する、津波避難案内看板を福良港臨港道路沿いに七か所設置しました。

この看板は太陽光発電により充電され、夜間の約六時間点灯します。また、震度四以上の地震が発生した時にも点灯する仕組みになっています。

予想津波高看板を設置

市内の津波の被害を受けると想定される地域の七十か所

の電柱等に予想津波高看板を設置しました。

この看板には、予想津波高や到達時間、周辺の地盤高が表示されています。



▲電柱に取り付けられた予想津波高看板

講演会のご案内 「防災とまちづくり」

災害に強い地域づくりを話し合います

- ◆日時 6月17日（土）午後1時30分～
- ◆場所 南淡公民館3階
- ◆内容
 - ・「自治体の自立と住民協働の地域づくり」
講師：東京工業大学 桑子敏雄教授
 - ・「民話が伝える淡路の災害」
講師：NPO 観光立島淡路島 須田清隆理事
 - ・ワークショップ（災害に強い地域づくり）
- ◆入場料 無料
- ◆主催 福良探検健康マップ実行委員会
岡南淡公民館 ☎ 50-3048